

農園通信

2014年1月24日発行

さよなら エノキ

畑の真ん中に1本だけエノキ(榎)の木がありました。鳥が種を運んできてたまたまここに植えたものです。10年以上経ちみるみるうちに太く大きくなっていきました。エノキはとても成長が早く毎年枝を切り詰めて高くならないように剪定していましたが、このままにしておくと将来的に大木になってしまう懸念があり、立ち退いてもらうことにしました。

1月の晴天の日、植木屋の狭山グリーンさんをお願いしてチェーンソーで一気に伐採。切り株をみると見事に13年分の年輪が！1層ごとの幅が広く1年での生育速度の速さを物語っています→

切った太い幹は畑の歩道の入り口に置き
太い枝は花壇の柵に使ったりして、もうしばらくお役目を果たしてもらおうと思います。



パン用小麦 生育中



学生さんの希望で今年はパン用小麦を栽培しています。目標は自分で栽培した小麦でパンを焼くこと。種まきは昨年11月末、学生自ら行いました。

これから麦踏みをして丈夫な根が育つようにします。せっかくがんばって生えているのに踏んでしまうの！なんて少し気の毒な気がします。この作業をしないと茎が細く倒れてしまったり、枝が少ないので結果的に収穫量が少なくなってしまいます。放任主義でも過保護でも駄目なのです。

小麦は栽培するまでは時間をかければなんとかできますが、粉にするまでがひと苦労。約15㎡の畑でどれくらい小麦粉がとれるでしょうか？収穫は6月上旬の予定です。

農園 写真館



「一番乗りの紅梅」



「春待ち蠟梅(ロウバイ)」